

? 地域学校協働活動とは?

地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、学校を含む地域全体で子どもたちの学びや成長を支える、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことをいいます。

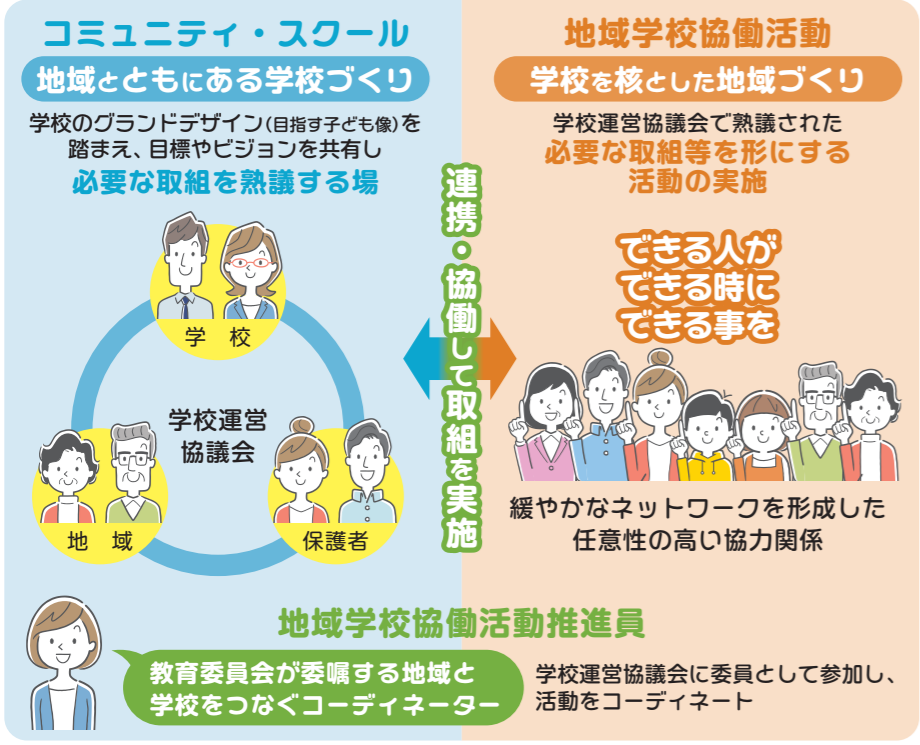
例えば、学校の教育課程内で行う授業補助やキャリア教育支援、本の読み聞かせ活動や登下校の見守り、放課後の学習支援、さらには休日の体験活動など、多様な活動が考えられます。

これらの活動を通して地域ぐるみで子どもを育てます。

? コミュニティ・スクールとの関係は?

コミュニティ・スクールで話し合われた(熟議された)、「こんな子どもに育ててもらいたい」、「そのためにみんなてできること」等の内容を地域学校協働活動で実現します。

④ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進



実際に活躍している推進員さんからメッセージ

私たちは、学校と一緒に地域のみんなで子どもたちの成長を支えられるよう、学校を中心に地域の輪を広げる活動をしています。子どもの成長は決して学校だけが担うものではありません。特に最近では、子どもを取り巻く環境の大きな変化や、課題の多様化、その対応による学校の多忙化等とされています。こうした大変な時代だからこそ、子どもたちの成長を見守る地域と、保護者の皆さんの力が必要だと感じています。地域学校協働活動は、そんな地域の力を、家庭や学校の教育とつなげ、子どもたちの成長を支えます。どんな活動でも、どんな集まりでも大丈夫です。たくさんの人で作り上げる「連携・協働」が大きな力となり、子どもたちに届きます。「できる人が、できる時に、できること」をやってみましょう。そして、学校も地域を信じてください。この街と子どもを愛する地域の仲間はきっと力になってくれるはずです。未来を担う子どもたちは地域の宝です。子どもたちの笑顔のために、皆さんも一緒に地域学校協働活動を試してみませんか。

手稲中央小 ☆こども未来応援団 地域学校協働活動推進員 駒ヶ嶺 智史さん

地域学校協働活動の取組をご紹介します

授業内

真栄小学校区
地域連携本部

「マイドリームプラン(キャリア教育)」
6年生の総合の時間に実施

手稲中央小
☆こども未来応援団

プロに学ぶ「声って楽器が好き！
みんなて楽しい声の出し方レッスン」
3年生の音楽の時間に実施

放課後

手稲西中学校
地域連携協議会

放課後学習会「まなぼろ」
放課後に学習サポートを実施

屯田南小学校
サタデースクール運営協議会

「紙工作体験」
保護者懇談会の時間を活用して実施

休日

中央小学校
運営協議会

「中央小グラウンドプレイパーク」
夏休みのグラウンドを活用して実施

みずばしyoungクラブ運営協議会
(星置中学校)

「絵本と音楽の集い」
土曜日に小中学生を対象に実施

皆さんも、地域の子どもたちのために、
ともに考え、ともに活動し、ともに歩いて
いきませんか?

問い合わせ

【学校運営協議会について】
札幌市教育委員会学校教育部学びのプロジェクト担当課
TEL：011-211-3851

【地域学校協働活動について】
札幌市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課
TEL：011-211-3872



さっぽろ市
02-S02-24-708
R6-2-544

**札幌市で
コミュニティ・スクールが
始まります!**
(学校運営協議会制度)

地域・保護者・学校が一体となって
子どもを育てるために

札幌市教育委員会
SAPPORO



コミュニティ・スクールってなに？

「**学校運営協議会**」を設置した学校のことを言うよ。学校運営協議会は、学校と地域が連携して子どもたちを育てていく仕組みのことで、保護者や地域の皆さんが学校運営に参画し、学校が家庭や地域と一体となって、子どもの育ちや学びの充実に継続して取り組んでいくよ。

学校運営協議会では、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのかという「目標・ビジョン」などを話し合った。

地域の皆さんの意見を学校運営に生かし、「地域とともにある学校づくり」を実現していくよ。



コミュニティ・スクールの魅力・ナリット

子どもにとっての魅力

子どもたちの学びや体験活動が充実します

地域への愛着が生まれ、地域の担い手としての自覚が高まります

防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます

保護者にとっての魅力

学校や地域に対する理解が深まります

地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります

地域にとっての魅力

地域の防犯・防災体制等の構築ができます

経験を生かすことを通じて生きがいや自己有用感が生まれます

学校運営協議会により地域ネットワークが形成されます

教職員にとっての魅力

地域人材を活用した教育活動が充実します

地域の方々の理解と協力を得た学校運営が実現します

地域の協力により子どもと向き合う時間の確保ができます



札幌市では「コミュニティ・スクール」を導入し、保護者や地域など子どもに関わる人たちの意見を学校運営に反映させ、子どもの多様な学びや成長を支えます

※：2024年度から順次導入予定



校長

コミュニティ・スクール

(学校運営協議会を設置した学校)

学校運営の基本方針

説明

承認

学校運営教育活動

説明

意見

学校運営協議会

委員

地域住民・保護者代表
地域学校協働活動推進員
など



学校運営・
学校運営に必要な支援に
関する協議(熟議)

情報提供

情報提供・協議を
踏まえた
支援活動

地域

地域住民

保護者

町内会

PTA

企業・NPO

文化・スポーツ団体

関係行政機関

社会教育施設団体



教育委員会

任命

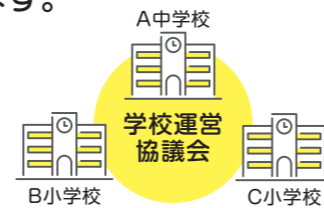
意見



札幌市における学校運営協議会の特徴

小学校と中学校のパートナー校で一つの学校運営協議会を設置します。

1



義務教育9年間における系統性・連続性のある学びや育ちを充実させます。

2

子どもの声を学校運営協議会に取り入れ、学校運営に反映させます。



なぜコミュニティ・スクールが必要なの？

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化していて、学校が地域の皆さんと連携・協働することがますます重要なんだ。
未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、「社会総掛かりでの教育の実現」が不可欠だと言われているよ。



学校運営協議会では何を話し合うの？

学校運営や学校運営に必要な支援について話し合うよ。

〈学校運営協議会の主な役割〉

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について、教育委員会や校長に意見を述べるができる

